

1 プラごみゼロ宣言（県と25市町）



資料 5

栃木からの森里川湖 プラごみゼロ宣言

プラスチックは、わたしたちの生活に利便性と恩恵をもたらしてくれる有用な物質です。しかし、一方で、海に流れ出ると、長期間、環境にとどまり生態系にも影響を及ぼします。

海洋プラスチックごみは、山から川、川から海へとつながる中で発生するものであるため、上流の栃木県においても自分の問題として考えていく必要があります。

そこで、県と市町が連携し、不必要な使い捨てプラスチックの使用削減、再生材や生分解性プラスチックの利用促進、プラスチックごみのリサイクルと適正処理の徹底など、プラスチックとの上手なつきあい方を、栃木から発信し、森里川湖におけるプラスチックごみゼロに向け、行動することをここに宣言します。

令和元(2019)年8月27日



Plastics
Smart

栃木県	宇都宮市	足利市	栃木市	佐野市	鹿沼市
日光市	那須塩原市	小山市	真岡市	大田原市	矢板市
那須塩原市	益子町	さくら市	那須烏山市	下野市	上三川町
野木町	野木町	塩谷町	市貝町	芳賀町	壬生町
			高根沢町	那須町	那珂川町

栃木からの森里川湖 プラごみゼロ宣言の取組

個人・企業・団体・行政などのあらゆる主体が、それぞれの立場でできる取組を行い、プラスチックと上手に付き合っていきましょう。

県民の皆様へのお願い

○ 3R(リデュース、リユース、リサイクル)のほか、プラス3Rを意識した行動をお願いします。

Rethink(リシンク): 本当に必要なものかどうかよく考える。【考える】
※ そのレジ袋、スプーンやフォークは本当に必要ですか？

Refuse(リフーズ): 不必要なものはきちんと断る。【判断する】
※ いらないモノを増やさない。

Refine(リファイン): 捨てるときには分別する。【分別する】
※ リサイクルのことを考えて手間をかける。

○ とちぎの環境美化県民運動への参加

○ ポイ捨てはダメ! ゼットイ!

小売店、飲食店の皆様へのお願い

○ お客様への、配布品(レジ袋やスプーン等)が必要かの声かけ

○ マイバッグの推奨

企業、農業者の皆様へのお願い

○ 再生材や紙、バイオプラスチック等の再生可能資源への代替促進

○ 生分解性プラスチック農業用マルチの利用促進

県、市町の率先実行

○ 公共調達における再生プラスチック使用品優先購入(グリーン調達)

○ 庁舎内における分別回収の徹底

2 プラスチック資源循環推進条例



栃木県プラスチック資源循環推進条例の概要

令和2年3月9日制定 ・ 令和2年3月10日施行

前文

資源の大量消費が気候変動などを地球規模で引き起こしており、とりわけ、プラスチックに関しては、いわゆるマイクロプラスチックなどの海洋ごみが生態系に大きな影響を与えるリスクが懸念されている。今こそ使い捨て型の大量消費社会から循環型社会への大胆な移行が必要であり、プラスチックの高度な機能を尊重しつつ、プラスチックとの上手な付き合い方を探求し、持続可能な社会の実現に向けた新たな一歩を踏み出していかなければならない。

ここに、プラスチックが資源として適正に循環する体制を築き、持続可能な循環型社会を実現することを決意し、この条例を制定する。

第1章 総則(第1条～第6条)

【目的(第1条)】

栃木県環境基本条例第3条の基本理念にのっとり、プラスチック資源循環の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって循環型社会の形成並びに県民の健康の保持及び増進に寄与する。

【県の責務(第3条)】

○施策の総合的な策定・実施

【県民の責務(第5条)】

○廃プラスチック類等の発生抑制
○循環的な利用の促進

【事業者の責務(第4条)】

○廃プラスチック類等の発生抑制措置
○循環資源の適正利用・適正処分

【市町村との連携等(第6条)】

○市町村との連携・協力
○助言・情報の提供

第2章 基本的な指針(第7条)

知事は、プラスチック資源循環の推進に関する基本的な指針を定めるものとする

第3章 基本的施策(第8条～15条)

【廃プラスチックの類等発生の抑制(第8条)】

【研究及び技術開発に対する支援(第12条)】

【廃プラスチック類等の循環的な利用の促進等(第9条)】

【産業の振興(第13条)】

【廃プラスチック類等の適正な処分(第10条)】

【推進体制の整備(第14条)】

【教育及び学習の振興等(第11条)】

【財政上の措置(第15条)】

附則

○公布の日(令和2年3月10日)から施行



3 基本的な指針



栃木県プラスチック資源循環の推進に関する基本的な指針【概要版】



■ 指針の趣旨

- ・ プラスチック=我々の生活に利便性と恩恵をもたらし、生活の隅々にまで浸透
- ・ 一方、プラスチックごみによる地球規模での環境汚染が懸念⇒プラスチックを資源として循環させる体制の構築が喫緊の課題

県と全市町による宣言（全国初）

栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言 （令和元年8月）

（概要）
海洋プラスチックごみ問題について上流県であっても自分の問題として考える

プラスチックとの上手なつきあい方を発信

森里川湖におけるプラスチックごみゼロに向け行動

全国に先駆けて条例を制定

栃木県プラスチック資源循環推進条例 （令和2年3月制定・施行）

第1章 総則	
目的	§ 1
県・事業者・県民の責務	§ 3～5
市町村との連携等	§ 6
第2章 基本的な指針	§ 7
第3章 基本的施策	
発生の抑制	§ 8
循環的な利用の促進等	§ 9
適正な処分	§ 10
教育及び学習の振興等	§ 11
研究及び技術開発に対する支援	§ 12
産業の振興	§ 13
推進体制の整備	§ 14
財政上の措置	§ 15

（指針） 条例第7条の規定に基づき、プラスチック資源循環の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、基本的事項等を定める

■ 施策展開

3R（リデュース、リユース、リサイクル）に、 本県独自のプラス3R（リシンク、リフューズ、リファイン）の視点

(1) 発生の抑制

- ①マイバッグ・キャンペーンの実施
- ②プラスチックとの上手な付き合い方についての普及啓発
- ③過剰な容器包装の使用抑制等
- ④会議でのペットボトルの使用削減（県の率先垂範）
- ⑤市町における可燃ごみ処理有料化の推進
- ⑥排出事業者による発生抑制の取組の促進
- ⑦イベントにおける使い捨てプラスチックの排出抑制

(2) 循環的な利用の促進

- ①市町による分別回収の促進
- ②多様な回収ルートによる分別収集の促進
- ③ごみ分別の意義の啓発
- ④リサイクル製品の認定制度
- ⑤グリーン購入の推進
- ⑥再生材、紙、バイオプラスチック等の利用促進

(3) 適正な処分

- ①不法投棄、不適正処理の未然防止（啓発、監視）等
- ②ポイ捨て防止の普及啓発
- ③地域住民や企業、団体等による清掃活動等取組の推進
- ④処理施設の確保に向けた、処理施設に対する県民理解促進事業の展開
- ⑤プラスチックごみの処理ルート拡大

(4) 基盤整備

- ①環境教育
- ②産学官の連携及び技術開発支援等
- ③リサイクル製品の認定制度（再掲）
- ④グリーン購入の推進（再掲）
- ⑤漂流・漂着プラスチックの実態把握
- ⑥栃木県プラスチック資源循環推進協議会
- ⑦プラスチック対策に係る県と市町の勉強会

取組を促進

4 プラスチックごみ対策の取組



●事業一覧

区分	事業名
環境教育	エコたび栃木プロジェクト
	環境学習出前授業（学ぼう！ごみを処理する施設）
	環境学習講座（なかがわ水遊園）
循環的な利用の推進	栃木からのボトルtoボトルリサイクル・パートナーシップ協定
	栃木県リサイクル製品認定制度 ーとちの環エコ製品ー
	プラスチック対策に係る県と市町の勉強会
	使い捨てプラ削減促進事業 【新規】
清掃活動	栃木の森里川湖清掃活動等ポータルサイト
	For me 530 project（フォーミー ごみゼロ プロジェクト） 【新規】

① エコたび栃木プロジェクト

令和6年度

エコたび栃木 参加校を募集中！修学旅行

栃木県内の小・中学校及び義務教育学校[®]の修学旅行又は、栃木県内に宿泊する県外の小・中学校の修学旅行において、下記の3つの取組を実践する学校を募集します。
※特別支援学校小・中学部を含む **応募締切 令和7年3月14日まで**

取組1

歯ブラシ・はみがき粉の持参

マイバッグ・マイボトル[®]の使用

※感染症対策等により、ペットボトル飲料などを
使用する場合は、ラベル、キャップなどの分別を徹底し、
リサイクルを図る。

食べきり・食べ残しの削減

ご参加いただく学校には修学旅行で使用
する「栃木県オリジナルのエコバッグ」を
修学旅行生全員分お送りします。(先着順)



修学旅行で使ってね!!

R5実績

141校
10,011名

さらに！取組2 エコたびチャレンジ 応募締切 令和6年12月6日まで

学校独自のエコな活動を事前に考え、修学旅行中に実践してみよう！
優秀校には栃木県オリジナル木製表彰状を贈呈します。

エコたびチャレンジの例

- ・旅行先でのごみ拾い
- ・事前学習・事後の振り返り・取組発表 など



優秀校を表彰



栃木県と県内25市町は、「栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言」に基づく取組を進めています。

※この事業は「とちぎふるさと電気」の資金を活用しています。

② 環境学習出前授業 (学ぼう！ごみを処理する施設)



R5実績
10校



内容(80~120分程度)

(1) 座学「学ぼう！ごみを処理する施設」

ペットボトルリサイクルの流れを中心に、
その他のごみのリサイクルや、身近な家庭
ごみの出し方について、動画、スライド等
を用いて解説します。

授業風景



(2) パッカー車によるごみ投入体験

(公社)栃木県産業資源循環協会青年部の協力により、
パッカー車(ごみ収集車)を学校の校庭に派遣し、
児童にごみ投入体験を行ってまいります。
(日にちによっては派遣できない場合があります)。

パッカー車によるごみ投入体験



(3) 寸劇「プラスチ郎」

(公社)栃木県産業資源循環協会青年部の協力により、
浦島太郎を模した寸劇を行います。
海洋プラスチックごみ問題及びごみの分別について、
一緒に考える内容となっています。



(4) 体験学習「マイクロプラスチックについて学ぼう」

栃木県内の河川敷から採取した川砂をサンプルとし、
ピンセットでマイクロプラスチックを探してもらい
ます。それらが、どのように発生したのかについて
学習します。



③ 環境学習講座 (なかがわ水遊園)

なかがわ水遊園

自然にやさしいエコバッグ作り

海洋プラスチックゴミなどの環境問題について
知って、自然にやさしい布製のエコバッグにお
絵かきして、世界にひとつだけのオリジナルバ
ッグを作ります。

【当日受付の講座】

- ◆開催日
9/7(土), 9/14(土), 9/28(土)
- ◆開催時間
◇1回目 11:00~
◇2回目 13:30~
◇3回目 15:00~
- ◆開催場所
おさかな研究室

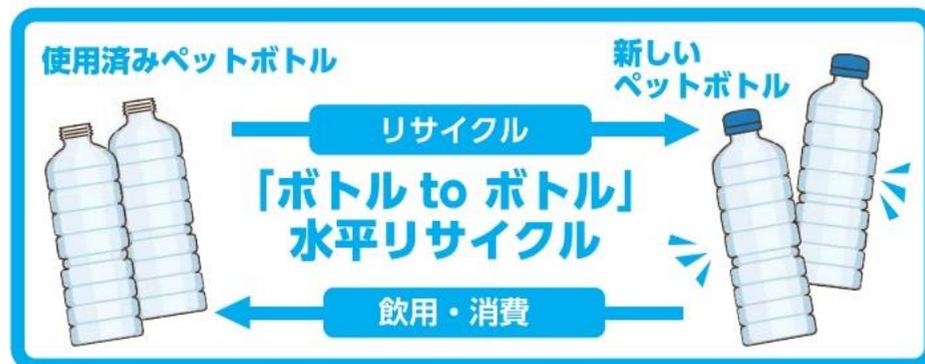
R5実績
42回
475名




④ ボトルtoボトル リサイクル・パートナーシップ協定



R5実績
3.4t



(※水平リサイクルとは使用済み製品を原料として用いて同一種類の製品につくりかえるリサイクルのこと)

⑤ 栃木の森里川湖清掃活動等ポータルサイトの運営



清掃活動インフォメーション

県HPで活動団体を紹介

日時	団体名及び活動内容	一般参加	地区	種類
令和6年7月21日	株式会社ボンパック 栃木工場 (PDF: 685KB)	不可	壬生町	新規活動報告
令和6年7月8日	中興化成工業株式会社 宇都宮工場 (PDF: 437KB)	不可	鹿沼市	新規活動報告
令和6年6月24日	栃木県自然公園美化推進協議会那須支部 (PDF: 907KB)	可	那須町	新規活動報告

株式会社ボンパック 栃木工場



【ひとことPR】

タキロンシーアイ株式会社は、各地の海岸・河川・湖などの水辺を清掃するボランティア活動「水辺のクリーンエイド」を2019年度より開始し、継続して取り組んでいます。
 (株)ボンパックはタキロンシーアイのグループ一員として栃木工場周辺エリアにて「水辺のクリーンエイド活動」を不定期に開催いたします。

計36団体 (R6(2024)年8月31日時点)

- ①足利の山クリーンハイク ②市貝ジュニアリーダーズクラブ ③宇都宮海さくら ④宇都宮市河川課 ⑤宇都宮大学環境改善学生サポーターECHO ⑥海と日本プロジェクトin栃木県 ⑦株式会社大岩建設 ⑧奥日光清流清湖保全協議会 ⑨上稲葉・自然を守る会 ⑩サンエコサーマル株式会社 ⑪塩原温泉観光協会 ⑫杉の並木守(日光杉並木街道保護ボランティア) ⑬鈴運メンテック株式会社 ⑭株式会社セルクリーンセンター ⑮株式会社ダイセキ 関東事業所 ⑯中興化成工業株式会社宇都宮工場 ⑰中禅寺湖クリーンプロジェクト ⑱電気興業株式会社 鹿沼工場 ⑲栃木県 ⑳公益社団法人栃木県産業資源循環協会 青年部 ㉑栃木県自然公園美化推進協議会那須支部 ㉒栃木県なかがわ水遊園(公益財団法人栃木県農業振興公社) ㉓特定非営利法人とちぎ生涯学習研究会 ㉔特定非営利活動法人とちぎボランティアネットワーク ㉕利根川上流河川利用者協議会 ㉖那珂川をきれいにする会 ㉗仲田総業株式会社 ㉘那須塩原市立塩原小中学校 ㉙日産自動車栃木工場 ㉚日本サーファクタント工業株式会社 ㉛ハートランドまちづくり隊 ㉜ふれあいの森伊勢崎 ㉝株式会社ボンパック栃木工場 ㉞株式会社八幡 ㉟株式会社リ・プラ ㊱渡辺産業株式会社

⑥ 栃木県リサイクル製品認定制度 —とちの環エコ製品—



(概要)

県内で製造販売されるリサイクル製品について、認定要件に適合した製品を県が認定し、その普及啓発を行うもの。

認定プラスチック製品 5製品
 昨年度認定
 ボールペン2製品
 リサイクルゴムチップ1製品

製品認定数（令和6年7月1日現在）

区分	紙類 事務用品	肥料 土壌改良材	土木資材	その他	合計
製品数	5	20	90	9	124

(課題)

土木資材用途の認定数は一定数を確保しているが、他用途での認定数も増やしたい。

<事務用品>

05-163(1) サラサクリップ

認定事業者: ゼブラ株式会社
 東京都新宿区東五軒町2番9号
 0280-56-2111 野木工場(代)

筆記具

再生ポリカーボネート、再生ポリプロピレン

水性ゲルインクボールペン

<造園材>

02-152 プライクル

認定事業者: Reiwa工業合同会社
 栃木県宇都宮市水室町1277-2
 080-1985-3987

板材タイプ、角材タイプ、丸棒タイプ、ベンチ、テーブル、植木箱、花壇枠、境界フェンス、テッキ、低層土留め、看板、作業台、縁台

ポリエチレン、ポリプロピレン、ABS、AS、PET、ポリスチレン

板材タイプ、角材タイプ、丸棒タイプ、ベンチ、テーブル、植木箱、花壇枠、境界フェンス、テッキ、低層土留め、看板、作業台、縁台

<その他の製品>

01-145 樹脂製敷板「リピーボード」

認定事業者: 株式会社オオハシ
 神奈川県横浜市鶴見区潮田町3-141-3
 0289-77-3261(株リピープラス)

軟弱地盤の養生

電線被覆材(低密度ポリエチレン)、水道管材類粉砕品(高密度ポリエチレン)等

4×8版(1230mm×2560mm×13mm、厚さ公差:±1mm、色:黒、重量:約40kg±2kg)他

<その他の製品>

05-164 リサイクルゴムチップ

認定事業者: 株式会社ラバーテック
 栃木県小山市出井1193-8
 0285-23-2223

人工芝充填剤、グラウンド・遊歩道などの舗装充填剤

廃タイヤ

人工芝充填剤:粒径1~2mm(ロール粉砕)、舗装充填剤:粒径1~3mm(カット粉砕)

⑦ プラスチック対策に係る県と市町の勉強会



先進市町の取組を横展開するための情報交換の場の役割

開始年度 R1～

開催回数 9回

R6.5.31開催での主な議題

プラスチック分別回収の促進に向けての情報交換

大田原市の事例発表（R6～分別回収開始）

高根沢町の事例発表（R2～分別回収開始）

※両市町とも民間事業者を活用して収集運搬、リサイクルする事例

今後の予定

容器包装プラスチック選別保管施設（県内の民間事業者）の視察

年度	容器包装プラスチック分別回収実施市町数
R1	9 宇都宮市、上三川町、鹿沼市、那須町、 芳賀町、さくら市、小山市、野木町、下野市
R2	10 高根沢町
R6	12 大田原市、塩谷町

年度	製品プラスチック分別回収実施市町数
R6	9 （イベント回収） 栃木市、大田原市、那須烏山市、 那珂川町、塩谷町、高根沢町 （拠点回収） 那須塩原市、那須町、矢板市

⑧ For me 530 project 協議会からの提言事業



提言：ごみ拾い活動を切り口とした多くの県民を対象としたプラスチックごみ対策

キャンペーン実績

期間 5月1日～7月31日
 応募数 1,281件
 拾ったごみの数 28,195個

周知協力

県内各企業・団体
 市町

課題

- ・認知度のアップ

行動変容のきっかけづくり
 小売店等との連携拡大

週に一度だけ職場のまわりを。
 自慢の清流スポットをキレイに。
 ワンちゃんのお散歩がてら。
 私のための私らしいゴミひろい

毎日のウォーキングついでに。
 通学路で子どもと一緒に。
 空の一杯分だけ。コーヒーカン。
 公園で、ちよついでに。
 駐車で、マイカーの周りだけ。

2024.5/1※～7/31※

“私らしいゴミひろい”をしたらLINEから投稿！抽選でプレゼント！

豪華宿泊券をもらおう！
 プレゼントを

第1弾 5/1・31	第2弾 6/1・30	第3弾 7/1・31
A賞 新形文化財ホテル 嵐邸 宿泊券 B賞 新形文化財ホテル 嵐邸 商品券(1,000円分) C賞 530project オリジナル筆字	A賞 リンネルホテル 宿泊券 B賞 リンネルホテル 商品券(1,000円分) C賞 530project オリジナル筆字	A賞 日栄会ホテル 宿泊券 B賞 日栄会ホテル 商品券(1,000円分) C賞 530project オリジナル筆字

参加方法 / 1.ゴミひろいをする 2.写真を撮る 3.栃木県公式LINE+応募する

期間中、1日1回応募できます！
 たくさん応募して当選率UP!

栃木県環境情報課 資源循環課 電話 028-621-3228



⑨ 使い捨てプラ削減促進事業



プラスチックからの切替えをしている飲食店を応援する事業を本年度からスタート（ミニのぼり配布、県HP店舗紹介）

課題

- ・ 取組店舗の掘り起こし
- ・ 取組店舗へアプローチしても登録まで結びつかない

対象事業者

- ・ プラスチック製のテイクアウト容器、ストローなどから紙製や木製等の代替製品に切替えを行っている県内の飲食店

応募方法

- ① 県HPから電子申請（専用フォーム）にアクセス



- ② 必要事項の記入写真の添付



取組を宣伝するのね！

プラごみ削減に取り組む飲食店を紹介します！

現在、世界中で脱プラスチックの動きが加速しています。その背景には、適切に処理されなかったプラスチックごみによる海洋汚染や、製造や焼却時に出る二酸化炭素の増加による地球温暖化など、さまざまな環境問題が絡んでいます。

使い捨てプラスチック容器は便利で安価である一方、安易に大量に使用されたり、適切に回収処理されない、環境中に長く残り続けるなど環境汚染の原因になることなどから、紙や木製、生分解性の容器に切り替える飲食店が増えてきています。一方、原価（コスト）が高くなるなどの課題があるため、更なる切替えの広がりためには消費者の皆様のご理解が不可欠です。

栃木県では、令和6（2024）年度から、使い捨てプラスチックごみの排出抑制のため、プラスチックからの切替えをしている飲食店を応援する事業をスタートしました。具体的には、飲食店の取組を広く消費者の皆様にご紹介いただくために、オリジナルミニのぼり旗を配布するとともに、県ホームページなどで紹介していきます。

<p>・ WALK EATER（ウォークイーター）（PDF：512KB）</p> 	<p>・ ミレット号（PDF：474KB）</p> 
<p>・ 369（ミロク）（PDF：563KB）</p> 	<p>・ カリーHANS（PDF：461KB）</p> 
<p>・ Feel good tacos（PDF：441KB）</p> 	<p>・ 那須どうぶつ王国「やまねこテラス」（PDF：386KB）</p> 

使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる飲食店を紹介

栃木県環境森林部資源循環推進課

Feel good tacos

- 容器等の切替えをしまっけ！SDGsに取り組むため
- 切替えて良かったこと
容器もキッチンカーのテイストに合うようになった
- 減ったPR
子どもオーダー（2歳～8歳）
プラスチック（紙）1箱 100円
紙製（お弁当）1箱 100円
- プラスチック以外の容器等に切替えた時期
令和5年6月



○ プラスチック以外に切替えた容器等
紙製（お弁当）
木製（スプーン）

Instagram: FEEL_GOOD_TACOS



使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる飲食店を紹介

栃木県環境森林部資源循環推進課

那須どうぶつ王国 やまねこテラス

- 容器等の切替えをしまっけ！動物と共生する地球環境を守るため
- 切替えて良かったこと
来園者に普及啓発活動の一環として周知できること
- 減ったPR
日本の動物食料「ワタメ」の海外産全廃の一環で、国内で調達する食料をすべてワタメにする予定です。この結果、国内産ワタメの消費量が増えます。
- プラスチック以外の容器等に切替えた時期
平成30年10月



○ プラスチック以外に切替えた容器等
紙製（ストロー、カゴ）
木製（マドラー、スプーン）
金属製（フォーク、子供用スプーン）

HP: <https://nasu-zoo.co.jp/>
Instagram: nasu_animal_kingdom
X: 那須どうぶつ王国 (@nasuzoojp)
YouTube: 那須どうぶつ王国
note: <https://note-midokoro.com/note/jp/>
Facebook: 那須どうぶつ王国

